

講義名	(対面) *中国語B		
科目区分	グローバル		
担当教員	関 梅		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 2時限	授業形態	
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

この授業では中国語の基礎を学びます。中国語はよく「発音よければ半ばよし」と言われます。発音が命といっても過言ではありません。中国語学習の最初の目標は、正しく発音ができ、聞き取れ、ピンイン(中国語音のローマ字表記)がきちんと読めることです。私たち日本人にとって中国語学習は、漢字を理解できることが大きなメリットですが、逆にデメリットになることもあります。たとえば、漢字を見るとなんとなく中国語を理解した気分になり、発音を大事にしないということがよく見られます。それでは中国語を真にマスターすることはできません。中国語を音でキャッチし、理解できるようになりたいものです。テキストでは基本的に活用度の高い表現を学びます。半年の学習でも、けっこう使える言い回しを学ぶことができます。本学には中国からの留学生がたくさん在籍しており、中国語がいつでも使える恵まれた環境にあります。学んだ中国語をどんどん使って、留学生と積極的に交流してほしいと思います。

到達目標

- 中国語学習を進めていく上での基礎的知識(発音、ピンイン表記)を身につける
- 基本的な中国語を聞き、質問や状況に応じた応答ができる
- 基本的な文の意味を理解でき、書くことができる

提出課題

毎回の授業では、学習内容の理解状況を確認するため、トレーニング用のプリントの提出をしてもらい、次回にフィードバックを行う。また、毎週宿題のプリントも配布する。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック

前回の提出物から習得状況を確認し、それによって復習を行う。また、単語テストの結果により、再テストをすることもある。

評価の基準

平常点(出席、課題の提出、小テスト(対面授業の場合)中間テスト、期末テスト)

評価の基準について、教室で詳しい説明を行う。

履修にあたっての注意・助言他

外国語の授業は実践的なもので活発な取り組みを期待します。授業中の積極的な態度は大いに評価します。最近は教科書を持って来ない人や、始終スマホを操作している人が見つけられますが、そのような消極的な授業態度は大きなマイナスポイントとなります。

教科書	.発音重視!中国語初級マスター22.	阿部慎太郎・紅粉芳恵・関梅	金星堂	2500
-----	--------------------	---------------	-----	------

プリント資料及び参考文献

必要に応じて配布します。

授業計画

- 発音編1. 声調・単母音・子音・数字0-99
- 発音編2. 複母音・鼻母音・軽声・年月日
- 第1課 自己紹介をする
- 第2課 行き先を聞く
- 第3課 雑談をする
- 第4課 家族構成を聞く
- 第5課 スケジュールを聞く
- 前半総復習および中間試験
- 第6課 待ち合わせをする
- 第7課 機内食を頼む
- 第8課 SNSで連絡を取る
- 第9課 道案内をする
- 第10課 待ち時間を伝える
- 第11課 趣味の話をする
- 総復習

授業の進度はクラスの状態に合わせて適宜調整します

授業形態(アクティブ・ラーニング)

A: PBL(課題解決型学習)

I: 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)

U: ディスカッション、ディベート

E: グループワーク

O: プレゼンテーション

C: 実習、フィールドワーク

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

語学の習得は授業外での努力は欠かせないため、毎回の授業の後に、復習、予習課題がある。そのための勉強時間も確保しなければならない。

継続的に練習するのには、毎日の学習時間は40分程度が必要。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

本講義では基本的にICT活用をして授業を進めていく。文法説明や課題の答え合わせなどについてはすべてBigpadで行い、Quizlet、KahootもBigpadを利用する。

実務経験の有無及び活用

備考